

湯前町 I C T 利活用勉強会
平成 2 4 年度活動報告

平成 2 5 年 6 月

(一社)九州テレコム振興センター (K I A I)

(1) 湯前町概要

人 口：4,379人 (H22 国勢調査速報)

世 帯：1,515 (H22 国勢調査速報)

高齢化率：33.1% (H17 国勢調査)

※平成 22 年度町内全域に渡る光ファイバー整備事業が終了。

※各戸に音声通報端末を設置。

※町の基幹産業は第一次産業。



(2) 活動報告

① タウンミーティング

【第三回】 4月19日(木) 13:00~14:30

湯前町役場のうち、産業振興課、農業委員会事務局、農業公社の方々と意見交換を行いました。

《主な意見》

- ・競市場では競札を手書きで書いており時間がかかる。ICTを使って効率化できないか。
- ・農家への案内は高齢者が多いためメールが活用できない。このため口蹄疫の時も電話で各戸に連絡した。(現在は音声告知端末が有り便利)
- ・農地管理はGISと連動していて便利(地籍、地図、航空写真)
- ・営農指導は農協がやっているが、これとは別に、若手農家の勉強会やグループを視察している。
- ・生産よりも流通で挫折することが多い。
- ・高齢者は跡取りがいらないため、増産や増収への意欲が低い。
- ・新設した農業公社と農業高校との連携で農業、畜産を活性化させたい。

【第四回】 4月20日(金) 9:00~10:30

湯前町役場の総務課、議会事務局、区長会の方々と意見交換を行い、終了後にiPadの体験をしていただきました。

《主な意見》

- ・町内で買えないものはネットショッピングを利用するか、熊本市、鹿児島市、福岡市まで買い物に行く。
- ・ネットは携帯電話よりパソコンでの利用が多い。光に代わって満足している。
- ・ネットはADSLで充分、光にするとIP電話が利用できない。
- ・卒業記念映像をYouTubeに掲載している。
- ・Facebookを始めた。
- ・町での買い物や、高齢者(独居老人)の安否確認をiPadで出来たらいい。
- ・議会のネット中継をしてほしい。



【意見交換会の様子】



【i Pad 講座の様子】

【第五回】 8月20日（月）13：30～14：40

湯前町の区長（23名）と意見交換を行い、終了後にスマートテレビのデモを見ていただき、大変好評でした。

《主な意見》

- 独居老人の見守りサービスや、防災に関する要望がありました。
- 地域のコミュニティは存在しつつも、若者減少や、若者の不参加等があり、危機感を持たれていた。
- 防災に関しては、自主防災班を設置するなど、体制を構築できているが、若者等の担い手がいないことが課題。

【第六回】 8月21日（火）9：00～10：30

湯前町役場産業振興課、上球磨森林組合、球磨プレカットの方々と意見交換を行いました。

《主な意見》

- 森林組合は130名程度。若い人も入ってきており、国内でも有数の森林組合で林野庁からもヒアリングを受けている。
- ネットの利活用についてはニーズがなく、現場での打ち合わせや紙の図面を利用している。



【意見交換会の様子】



【スマートテレビデモの様子】

② 第2回湯前町ICT利活用勉強会（平成24年4月19日（木））

- 15団体29名が参加
- 水俣市、多良木町、山江村、球磨村の職員が視察
- 平成23年度活動実績報告、平成24年度活動計画（案）を説明
- 平成24年度の取り組みを協議（おっばい祭り、オンラインマンガ講座等）
- 地域情報化に関する参加者相互による自由討議



【鶴田町長挨拶】

【会場の様子】

【Facebook による情報発信】

Facebook ファンページを設置して、事前周知を実施し、当日も有志で写真を投稿する等PRをした結果、4月1日時点で「いいね数=0件」だったのが、5月1日時点で「いいね数：45件」となりました。

(参考 いいね数：9月末 80件、 H25. 2末 89件)



【Facebook ページ】

【おっぱいトークセッション】

トークセッションでは、ピンクリボン運動や、乳がん検診、早期治療等について、有識者にご講演いただき、会場のみなさまと一緒に乳がんについて考えていただきました。

(出演者)

- ・テレビ熊本 (TKU) 田代 彩華 氏
- ・球磨郡公立多良木病院 総合健診センター長 青木 範充 氏
- ・おっぱいリレー運営事務局 諸田 滋子 氏
- ・ゆのまえ温泉 湯楽里 支配人 西 美記子 氏
- ・おっぱい祭り実行委員長 竹下 裕一 氏



【おっぱいトークセッションの様子】

【インターネット体験コーナー】

構築した Wi-Fi 環境を利用して、i Pad によるインターネット体験コーナーを設置しました。



【インターネット体験コーナーの様子】

《参 考》

【ゆのまえ潮おっばい祭り】

湯前町には、宮崎県日南市の鶴戸神宮と祭神を同じとし、子宝と子育てにご利益がある「潮（うしお）神社」があり、産前産後に乳房をかたどったもの（右写真参照）を奉納し祈願すると、母乳の出が良くなる、と言われてきており、地元では、古くから“おっばい神社”の呼び名で親しまれている。潮神社で毎年行われる安産祈願式と併せ、湯前町における新たなまち起こしイベントとして、町民有志による「潮おっばい祭り」が平成 18 年度より開催されている。



【おっばいリレー活動】

温泉・温浴施設でのピンクリボン運動の一環として行われている。人口けた方（及びその家族）が普通に温泉・温浴施設を楽しめるよう、人工泉成分や温度による変色や変形などが起こらない、という点について、の温浴施設への周知と人工乳房の安全性を確かめてもらうための活動。



④ 九州地域ICT利活用調査研究会実施地域（湯前町）における普及啓発事業

a. Facebook 活用によるローカルメディア発信

（平成24年6月28日（木））

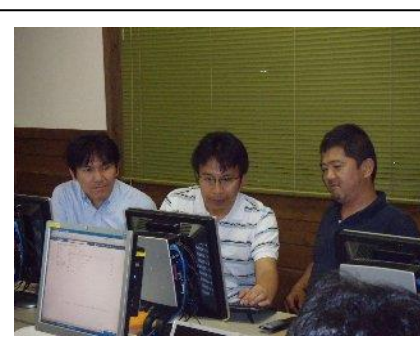
整備された情報通信基盤を有効に活用した情報発信に取り組む湯前町商工会会員を対象に、新たな情報発信メディア、ビジネスツールとして注目されている、Facebook の活用事例や、地方におけるFacebook 利活用のノウハウについてのセミナーを開催しました。受講者からは中級編、上級編開始の要望が多数ありました。



【牛島講師】



【セミナーの様子】



b. テレビ会議ソフトを活用したオンラインマンガ講座検証実験

（平成24年7月24日（火））

光ファイバケーブル等の情報通信基盤とTV会議ソフトを利活用し、日本でも珍しいマンガ学部がある京都精華大学の篠原先生が、湯前中学校の生徒を対象に風刺漫画の描き方等を指導しました。参観された関係者からは継続実施の要望があり、京都精華大学の篠原先生からも、今後大学のカリキュラム化を検討していきたいとの話がありました。

【講座内容】

- ・湯前町イメージキャラクターデザイン講座
ゆのまえ町イメージキャラクターデザインの応募作品の作成。
- ・那須良輔風刺漫画大賞講座
第21回那須良輔風刺漫画大賞の応募作品の作成。

【利用機材、ソフト等】

- ・ペンタブレット WACOM 製
- ・テレビ会議ソフト シスコ製 WebEx
- ・ペイントソフト Fire Alpaca
- ・画面キャプチャソフト ManyCam



【篠原先生】



【講座の様子】



⑤ 湯楽里おっぱいリレー2012LIVE 映像配信支援（平成24年10月13日）

ピンクリボン運動のひとつであるおっぱいリレーに湯楽里が参加し、そのおっぱいリレーの様子を Ustream で LIVE 映像配信をしました。

参加者は湯前町役場 鶴田町長、高橋氏、西氏、湯楽里 西支配人、栗須氏、おっぱい祭り実行委員長 山下氏、30分の検証時間のなかで、湯前町、湯楽里のPRを実施しました。

【Ustream チャンネル】

<http://www.ustream.tv/channel/oppai-relay>

【取材にきたメディア】

TV：NHK、熊本朝日放送

新聞：熊本日日新聞、西日本新聞、
ひとよし新聞、週刊ひとよし



【配信映像】



【人吉新聞】

⑥ ゆのまえ漫画フェスタ 2012「ICT利活用体験デモ」

(平成24年11月11日(日))

熊本県球磨郡湯前町の一大イベントである「ゆのまえ漫画フェスタ2012」において、情報発信力の強化、ICTリテラシー向上、利活用推進を目的として、iPadとの体験等をしていただきました。

【iPad体験】

iPadを4台設置し、画像編集体験やゲームを楽しんで頂きました。

【合成写真作成】

フリーソフトのクロマキー機能を使い、合成写真の作成とプリントサービスを実施しました。



【ステージの様子】

【ブースの様子】

⑦ 湯前町ローカルメディア利活用推進合宿

(平成24年12月8日(土)～9日(日))

湯前町住民の皆様を対象として、地方における情報発信力の強化、ICTリテラシー向上、利活用推進を目的とした「ローカルメディア利活用推進合宿」を開催しました。

この合宿では、従来のマスメディアとインターネット上のメディア双方を上手に活用した情報発信の基礎知識、ノウハウの習得を目指すとともに、地方におけるこれからのメディア利活用について講演とワークショップ(実技)を行いました。

内 容：

講演1：「いろいろなメディアを使いこなすコツ」

(株)ローカルメディアラボ 代表取締役 牛島 清豪 氏

講演2：「変化するテレビ・ラジオの世界」

(株)熊本放送 メディア企画局メディア広報部 次長 田尻 浩章 氏

講演3：「情報発信のための”知の素っぴん力”磨き」

熊本日日新聞社 NIE専門委員 越地 真一郎 氏

講演4：「魅力ある映像コンテンツの作り方」

(株)熊本放送 報道制作局 テレビ制作部 次長 薛 力夫 氏



【牛島 氏】



【田尻 氏】



【越地 氏】



【薛 氏】



【講座の様子】



⑧ 湯前町インターネット相談会（平成24年12月～平成25年2月）

湯前町民の皆様の「デジカメの画像をパソコンに取り込みたい!」、「インターネットに接続したい!」、「パソコンの動作が不安定になった!」等の、パソコン・インターネットに関するお悩み解決のお手伝いをしました。

開催日	参加者	相談内容
H24.12.13 (木)	0	-
H24.12.20 (木)	1	・Word の操作について
H25. 1.17 (木)	5	・メール設定 ・Skype 設定 ・パソコン、ipad、スマートフォンなど、自分にとって何が最適であるか（料金など） ・デジカメ写真の取込み ・USBメモリへの取込み ・Excel、Word作成（写真取込み）
H25. 1.31 (木)	3	・日記サービスについて ・パソコンの動作不具合（遅い） ・ネットショッピングについて
H25. 2.14 (木)	3	・湯前町インターネット設定情報の確認 ・パソコンの動作不具合（遅い） ・Facebook について
H25. 2.28 (木)	4	・パソコンの動作不具合（遅い） ・パソコン起動時の設定 ・パソコン基本操作 ・YouTube について ・スライドショー作成について



【相談会の様子】

⑨ 地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトの連携支援

湯前町商工会が今年度取り組んでいる「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」の調査事業に参画し、おっぱい部会委員として”おっぱい”をキーワードとした、特産品開発や、福祉観光開発についてICT利活用の観点から支援しました。

商工会は平成25年度に向けて、本事業を実施事業として申請中です。



【部会の様子】

【試作品】

(3) 平成24年度活動総括

湯前町の活動については、先行して取り組んでいる肝付町でのノウハウを活かすことができたため、より効果的な活動を実施することができました。このため、早い段階から地域に入り込むことができ、役場のみならず、商工会ほか関連団体、地域キーマンと連携協力した活動が出来ました。地方の自治体における情報化推進においては、特に情報発信力向上が必要との認識から、Facebook 講座や、イベントでのUstream 配信等を実施しすることで、情報発信コミュニティを形成するとともに、スキルアップを図りました。特に試験的に実施した、新聞、ラジオ、テレビ、ネットの各種メディアを一元的に学ぶ機会となった「ローカルメディア合宿」については、参加者から高い評価を得ることができたと考えられます。(このローカルメディア合宿の成果を元に、宮崎県の自治体職員研修を実施)

また、インターネット教室については、添田町での成果を反映し、より地域住民が参加しやすいように公民館で実施するとともに、初心者のレベルアップ、挫折者の掘り起しをねらって、相談会という形をとり、参加者からは継続的な実施の強い要望をいただきました。

このような活動を評価いただき、湯前町商工会からは「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」への参画、また町役場からは、町が構築した「健康レシピサイト」の改修や、ICTを有効活用した6次産業化推進関連プロジェクトへの支援要請等の依頼を受けることとなり、平成25年度に関しては、こういった湯前町における具体的な地域づくりに直接関与していくとともに、従来より進めてきた情報発信能力向上を狙った各種啓発事業を併行して進め、今後の継続的な地域情報化推進体制の在り方を引き続き検討していきます。

地域情報化推進の主な意義とは、コミュニティ並びにコミュニケーション形成能力向上を通じた地域の活性化であることが、湯前町での活動を通じて改めて認識できました。今後、湯前町における上記のような活動を推進していきながら、地域づくりにおける地域情報化の役割等について、幅広く分析していきたいと考えています。